

講義名称	保育実習指導Ⅲ	担当教員名	小菅 ゆみ
科目群	専門科目 (M)		
科目区分等	保育実習 (NP) 選択必修	単 位	1
対象学年次	2年・秋学期	ナンバリング	CMNP2348

授業のキーワード	生活の場 課題の明確化 自己覚知
授業の概要	総括としての実習にするために、学びを深めます。実習前後の自分の課題を明確にし、成長点と併せ自己覚知を深めます。保育実習1A或いは1B、障がい児保育の実際を履修済み、保育実習指導Ⅲを同時履修とします。
期待される学習成果 (目標)	1. 施設について、そこで働く保育者について理解を深めます。 2. 自分の課題を明確し、自分の成長点を認められるようになります。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	スケジュールの確認 実習の目的・意義	スケジュールの確認をします。保育実習Ⅲの目標と内容を学び、各自の事前学習の準備をします。
2	目標設定	保育実習ⅠBの反省点から各自で実習Ⅲの目標を設定します。
3	日誌の書き方	日誌の書き方を復習します。
4	施設調べ	各自で調べた実習施設についてグループで共有します。
5	実習生としての心構え、マナー、守秘義務	心構え、マナー、守秘義務等基本を再確認します。
6	ゲストスピーカー	「保育実習Ⅲに臨む実習生に求めること」というテーマでお話していただく予定です。
7	実習直前確認指導	実習を前にした思いを共有しあい、留意点を確認しあいます。
8	シェアリングと自己評価	実習をふりかえり、思いをグループで分かち合います。その後、冷静に自己評価をします。
9	実習施設に対する評価①	実習施設の評価をします。
10	実習施設に対する評価②	実習施設の評価をします。
11	自己への気づき『ジョハリの窓』	自己覚知を深めます。
12	報告会①	報告会をします。
13	報告会②	報告会をします。
14	課題の明確化	実習Ⅲを終え見えてきた自分の課題をグループで共有します。
15	総まとめ	実習と指導の総括をします。

定 期 試 験	予定はありません。
評 価 方 法	授業態度・貢献度、提出物、事前事後面談などから総合的に判断します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	岡本幹彦 神戸賢次 喜多一憲 児玉俊郎編集 『福祉施設実習ハンドブック』 みらい
参 考 文 献	